

日本ヒーブ協議会

「男女共同参画」めぐりシンポ

内閣府などと連携

九州で企業・行政が取組共有

内閣府、男女共同参画推進連携会議、一般社団法人日本ヒーブ協議会が主催するシンポジウム「男女共同参画社会の共創く生活者・企業・行政で創る九州の未来」が去る十二月四日、福岡市で開催された。

第一部は、内閣府男女共同参画局調査課長黒木理恵氏が「多様な選択を可能にする学びく令和元

年版男女共同参画白書より」をテーマに基調講演した。黒木氏は様々な制約がある中、社会人の学び直しの必要性和重要性について述べた。

第二部は九州大学大学院統合新領域学府客員准教授加留部貴行氏をモデレーターに迎え、黒木氏とハウステンボス(株)代表取締役社長坂口克彦氏、福岡市市民局男女共同参

画部長宇出研氏がパネリストとして、「九州の男女共同参画社会の実現に向けて」をテーマに、パネルディスカッションを行った。

企業・行政での取組、

現状を共有したうえで、男女共同参画の未来にむけて、アンコンシャスバイアスにとらわれない意識改革、若い世代や外部からの多様な価値観の受

け入れ等について活発な意見が交わされた。

今回は、二〇二〇年一月十七日に大阪市において「関西の男女共同参画社会に向けて」が開かれる。

日本ヒーブ協議会では、「共創」の重要性を踏まえ、幅広い参加を呼びかけている。詳しくは日本ヒーブ協議会のホームページで。

一月十七日には大阪でも開催